

【全国実施分】学力調査結果の分析による具体的改善策 小学校6年

(大明) 小学校

1 教科に関する調査

《平均正答率全国比》

R 7年度（今年度）結果	
国語	
8 4	
算数	
6 7	
理科	
1 0 2	

全国平均正答率を下回った問題（平均正答率の低い問題）		考えられる要因
国語	<p>①【ちらし】の下線部ア、イを漢字を使って書き直す。</p> <p>②【話し合いの様子】における小森さんの傍線部の発言を説明したものとして適切なものを選択する。 【インタビューの様子の一部】で「小森さんが傍線部アのように発言した理由として適切なものを選択する。</p> <p>③【木村さんのメモ】の空欄イに当てはまる内容として適切なものを選択する。 【資料3】を読み、【木村さんのメモ】の空欄Aに当てはまる内容として適切なものを選択する。 【話し合いの様子】の田中さんの発言Aに当てはまる内容として適切なものを選択する、</p>	<p>①漢字を苦手とする児童が多く、読みの問題も日頃から間違が多い。</p> <p>②話の内容を捉え、発言した人がその言葉を言った目的や意図を読み取ることが難しい。</p> <p>③資料を読み、大切なところや必要なところを見つけることが難しい。</p>
算数	<p>①都道府県A県のブロックリーの出荷量が増えたかどうかを調べるために、適切なグラフを選び、出荷量の増減を判断し、そのわけを書く。 示された表から、「春だいこん」や「秋冬だいこん」より「夏だいこん」の出荷量の多い都道府県を選ぶ。</p> <p>②0. 4 + 0. 05について、整数の加法で考えるときの共通する単位を書く</p> <p>③$3/4 + 2/3$について、共通する単位分数と、$3/4$と$2/3$が共通する単位分数を分数で書く。 数直線上に示された数を書く。</p>	<p>①グラフを正しく読み取ることや、目的に応じて適切なグラフを選ぶことが難しく、それを言葉を使って説明できない。</p> <p>②0. 4は0. 01が40個分、0. 05は0. 01が5個分ということが利用することができない。</p> <p>③分数の単位分数の考え方や、数直線を見て分数を書いたり読み取ったりすることができない。</p>
理科	<p>①アルミニウム、鉄、銅について、電気を通すか、磁石に引き付けられるか、それぞれの性質に当てはまるものを選ぶ。</p> <p>②電気を通すものと電気を通さないものでできた人形について、人形Aの剣を人形Bに当てたときだけ、ベルが鳴る回路を選ぶ。</p>	<p>①電気を通すものと磁石を引き付けるものの知識が定着していない</p> <p>②長い問題文の中から、人形の電気が通す部分と電気が通さない部分が読み取れていない。</p>

2 児童質問調査

※肯定的回答の割合（「学びに向かう力」「主体的・対話的で深い学び」に関連）同一集団

質問事項	R 6 年度結果	R 7 年度結果
教科の勉強は好きですか。	国語 4 0 %	8 3 . 3 %
	算数 4 0 %	5 0 %
	理科 8 0 %	1 0 0 %
	英語 6 0 %	
教科の授業の内容はよく分かりますか。	国語 8 0 %	1 0 0 %
	算数 8 0 %	8 3 . 4 %
	理科 8 0 %	1 0 0 %
	英語	
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりすることができますか。	6 0 %	1 0 0 %

3 具体的改善策

① 9月から取り組む（継続する）学校の組織的な学力向上の取組の改善策

- 新聞記事などの文章を読み、読み取ったことから簡単な問題を解くなどの文章に慣れてたくさん読む活動を入れる。
- キュビナやドリルを活用した、少數や分数、漢字など基礎的な知識の反復練習。

② 9月から取り組む国語・算数・理科における授業改善・学習定着状況の把握・家庭学習・補充学習の改善策

	授業改善	学習定着状況の把握	家庭学習・補充学習
国語	○新聞記事の読み取り問題や、漢字のミニテストなどを授業に取り入れる。	○単元テストやキュビナの結果をもとに、苦手とする児童が多い部分を把握する。	○漢字の読みにつながる音読みの宿題を出す。 ○キュビナを活用した漢字の読み書きの練習
算数	○単元に関する全学年の学習の復習を行う。 ○計算だけでなく、単位分数や考え方を児童に考えさせる時間を作る。	○単元テストやキュビナの結果をもとに、苦手とする児童が多い部分を把握する。	○3～5年生の復習を行うことができる過程学習プリントを出し、やり直しまで行う。
理科	○動画や、実験を通して児童が言葉だけでなく内容もしっかりと理解できるようにする。 ○隙間時間にキュビナを活用し、復習を行う。	○単元テストやキュビナの結果をもとに、苦手とする児童が多い部分を把握する。	○3～5年生までの知識・技能の復習ができる内容をキュビナで宿題に出す。